

学園だより

Vol.87

2010.3
Nara Women's
University



記念館春景(奈良女子大学メールマガジンより)

現在・過去・未来をつなぐ ————— 1

「地図を熟読し、野外で課題を発見する」
——これぞ地理学! 戸祭由美夫

来し方、そして今——

「こころざし」を振り返って

松本博之

漢字を読み続けて 松尾良樹

奈良女子大学を去るにあたって

杉峰英憲

子ども学に希望はあるか 浜田寿美男

私の「最終講義」 鈴木俊治

奈良女子大学での

管理栄養士誕生に立ち会えた喜び

伊達ちぐさ

服飾研究の愉しみ 岩崎雅美

私の生活環境学

——「生活環境学の思い出」——

磯田則生

退職にあたって

坂本信幸

寄稿 私のチャレンジ ————— 11

曲 向超 Mohaby Karima 川上知恵

卒業生からの寄稿 ————— 14

林 久美子 藤岡教子

就職内定状況(中間集計) ————— 16

クラブ紹介 ————— 18

学生生活支援 ————— 21

第16回外国人留学生による

日本語スピーチ大会及び学長主催留学生懇親会

平成21年度佐保会奨学金授与式

「廣岡奨学金」について

日本学生支援機構奨学金について

学生相談室から

学生表彰



奈良女子大学

「地図を熟読し、野外で課題を発見する」 ——これぞ地理学！

戸祭 由美夫

文学部 教授
人文社会科学 地域環境学コースYUMIO
TOMATSURI

昭和五十三年四月に奈良女子大学文学部地理学科に助教授として赴任して以来、今年で三十二年になる。その間、大学院文学研究科や人間文化研究科でも授業を担当し、全学対象の一般教育科目（現在の教養科目）の授業も担当してきた。しかし、担当する科目や受講生が異なるとも、「地図類を丹念に読み、その読図内容を現地へ行って確認し、新たな課題を発見する」作業こそ地理学では欠かせない、との信念のもとに授業を行ってきた。その最も端的な例が「野外巡検」ないし「野外調査法」と称する授業で、地理学科から地域環境学専攻（コース）を通じて専門必修科目となっている。

以下は、私が指導教員として学生・院生諸君を引率した、宿泊を伴う野外授業である。

〔A〕学部専攻生必修の野外巡検

①山陰方面：鳥取砂丘に集合し、東郷池・大山山麓・弓ヶ浜・境港を経て松江で解散。昭和五十四年度

〈松田教授・松井助手と指導〉

②愛知県三河方面：豊田に集合し、三河の農・工業や旧東海道宿場町を経て、渥美半島を巡る。昭和五十七年度

〈①と同じ〉

③北関東方面：高崎に集合し、桐生・

栃木・鹿沼：結城を経て宇都宮で解散。昭和六十年年度〈①と同じ〉

④北四国方面：丸亀に集合し、琴平・池田を経て新居浜で解散。昭和六十三年度

〈小方助教授・関戸助手と指導〉

⑤山形県庄内方面：鶴岡に集合し、同地を基点に庄内砂丘・羽黒山や酒田を巡る。平成三年年度〈④と同じ〉

⑥新潟県中越方面：新潟市に集合し、同地を基点に油田や弥彦神社・信濃川分水路を見学。平成六年度

〈小方助教授・山近助手と指導〉

⑦千葉県外房方面：茂原に集合し、同地を基点に九十九里浜やガス田、大多喜を巡る。平成八年度

〈高田助教授・佐野助手と指導〉

⑧秋田方面：秋田市に集合し、同地を基点に男鹿半島・八郎潟干拓地を巡り、角館で解散。平成十年年度

〈秋津助教授・木村助手と指導〉

⑨長野県諏訪方面：諏訪に集合し、同地を基点に霧ヶ峰・蓼科・八ヶ岳山麓や諏訪湖沿岸を巡る。平成十三年年度

〈高田助教授・山口助手と指導〉

⑩北海道道央方面：千歳に集合し、沙流川流域・十勝平野・富良野盆地・石狩炭田跡から石狩川河口を巡って札幌で解散。平成十六年度

〈高田助教授と指導〉

⑪青森県津軽方面：弘前に集合し、同地を基点に黒石や岩木山麓から津軽平野を巡る。平成十九年度〈⑩と同じ〉

〔B〕大学院修士課程学生対象の野外巡検

①滋賀県今津・安曇川方面：昭和五十七年度〈松田教授と指導〉

②兵庫県淡路島方面：昭和六十年年度〈①と同じ〉

③北四国方面：昭和六十三年年度

〈A④と合同実施〉

④京都府丹後半島方面：平成四年度

〈戸祭単独〉

⑤鳥取市方面：平成七年度〈④と同じ〉

〔C〕必修でない学部専門科目の野外巡検

①沖縄の文化遺産めぐり：平成二十年年度〈戸祭単独〉

以上、それぞれに思い出深い、A⑩は参加学生が巡検の前後に各自で北海道各地を旅行した点で、Cは理学科の学生二名も参加してくれたことで、殊に記憶に残る。

来し方、そして今—— 「こころざし」を振り返って

松本 博之

文学部 教授
人文社会科学科 地域環境学コース



HIROYUKI
MATSUMOTO

いざ、「定年」という二文字を耳にすると、あらためて「こころざし」や「ねがい」という言葉が頭をもたげてくる。社会的な役割から一応身を退くことになるのだが、これまでの人生、自分にならざるや「こころざし」や「ねがい」がどれほどあったのかという呵責の念である。

教員になって十五年ほど経ったころ、ある学生から、「せんせーがよく名前を出される先生の新聞記事が昨日出ていたので読んでみたんですが、考えられていることの深さとか人のこころに迫る力とか……」と言われた。こちらがその先生の受け売りで形式的に真似て言葉にしていたことと、実際にその先生が書かれている真意の違いをみごとに見抜かれたのである。そのとき、その違いを埋めるように浮かんた言葉が「こころざし」や「ねがい」であった。それ以後二十年あまり、教壇に立ちながらそれをトラウマのように引きずってきた。

ただ、そのトラウマは突然現れたものではなかった。それを遡ること二十年ほどまえ、一人の学部学生として、その先生の授業を四、五人で受けていたおりの事である。「君たち、学問をやるうとしているんだけど、学問があるなら、学問以前があるだろうね、……そしたら学問以後ということがあるん

じゃないか……」。学生に語りかけようとしておられたのか、それともご自身に問いかけられておられたのか。学問とはそうした真剣勝負の厳しさの中に身を置くことなのか。その時以来、その問いかけが私の中にトラウマとして残ってきたのである。私にとって学問以前とは何か？ その問いかけが私にはいつしか「こころざし」や「ねがい」という言葉に置き換えられたのである。

教職に身を置きながら、恥ずかしいことに、そうした内から突き動かすものが希薄なままのこれまでの来し方であった。私のように人の学問にたずさわる者にとっては、それは最大の欠点である。自分自身をまな板の上に載せることなく、他人事として学に臨んでも、そしてその成果を知識として口にしても、はたして学生さんや世の中の人びとに届くような質を備えているのだろうか。

私は院生のころから、機会があつて、南太平洋の小さな島で調べものを持ってきた。ほとんどノートと鉛筆一本の仕事である。その人たちの話を聞き、日々の生活を観察する。英語と在地の言葉で行うわけであるが、悲しいことに、それらの言葉がいつまで経っても身体化しないのである。肌身に響かないのである。言葉の肩越しには思っても、異文化の底、人間の底にはどうしても

至りえない。そのもどかしさ、その隙間は「こころざし」や「ねがい」の希薄な浮遊する日々の生活とどこか似ている。肌身に合わない服を着てきたようなこれまでの来し方。

なかば社会的な役割から身を退くとき、私はこのどこか借り物のような服を脱ぐことができるのだろうか。学問以後の世界に入ることができるのだろうか。いや、それは「こころざし」に裏打ちされた学問をやられた方にのみ口にでき経験できる行く末なのだろう。

そんな私に予想もしなかった名門の奈良女子大学の末席を汚す機会を与えて下さり無事現役を終えられること、優秀な学生さんと良き同僚の皆さんに恵まれたこと、そして研究室の窓越しに訪れてくれた鹿とタヌキにこころからお礼を申し上げたい。

漢字を読み続けて

松尾 良樹

文学部 教授
言語文化学科 日本アジア言語文化学コース



YOSHIKI
MATSUO

奈良女子大学に赴任したのは昭和五十四年の十月。博士課程を終え、ボスドクを二年、二年めからは折しも編集中の『京都大学人文科学研究所 漢籍目録』の手伝いとして、研修員を勤めさせてもらい、叢書の書誌をとるため、序跋をひたすら読むのが仕事となり、充実した日々を送った。従って、私の職歴は極めて簡単「昭和五十四年十月 奈良女子大学文学部助教就任 平成二十二年三月 同教授退任」で終り。

赴任したのは、文学部国語国文学科、その第四講座として中国語中国文学講座が新設されたのに伴い採用されたのであった。漢籍・中国書が全くなかったのは驚きの最たるものであった。また文系非実験講座の予算の少なさも驚きであった。授業に必要な本を揃えるため、乏しい私費を投じることが、習性となったのも、止むを得ぬ事ではあった。

教育の面では、外国語科目として、新たに中国語を開講し、一貫して担当し続けた。初歩から始めて、ある程度の数の学生を、高いレベルまで指導し、その中からかなりの専門家が育ったことは、有難いことであった。

マスター・ドクターで多くの中国人留学生を迎えたのも、語学教師としては恵まれた巡り合せであった。中国・

台湾に帰国し、大学教員として活躍している者が五名を越えた。彼女らの指導を受けた学生が、留学先として奈良女子大を選んでくれたら、と望んでいる。

研究の分野では、中国口語史の建設を課題とした。茫漠としたテーマゆえ、関連する分野は広い。出発点は敦煌俗文学、唐代の語り物―変文―であったが、やがて敦煌文書全体、そこにトルファン文書が加わり、正倉院文書まで加わった。筆と墨を用いて紙に書かれた唐代―奈良時代の写本群の比較研究のためであった。唐代のみに集中しようとした時に、心惹かれたのはお経―漢訳仏典―であった。調べてみると利用できる訳経は後漢から始まり、六朝末に及んでいた。かくて調査の対象はますます量を増した。この二十年、重点を漢訳仏典に置いて読み、データ化に努めたがまだまだ見通しはつかない。

漢字を読むことに変わりはないが、ものを調べ、知ることを楽しみを教えてください。それは東洋漆工研究会の仲間であった。明代の漆芸の専門書を日本語に訳するのが私の仕事、それを叩き台に、ものの専門家たち、作者・修理者・工芸史家・美術史家が議論する。そんな研究会が二十年以上続き、近年は年に数回の中国の博物館実地調査も行いうになった。

漢字を今後も読み続け、ことを考え、ものを調べることを楽しみとしたい。

膠（にかわ）が融合する

文化財と自然科学

日時／平成22年1月23日(土)
場所／奈良女子大学 文学系N棟201教室



奈良女子大学を去るにあたって

杉峰 英憲

文学部 教授
人間科学科 教育学人専攻コース



HIDENORI
SUGIMINE

本年度を最終年度に、奈良女子大学を辞することになりました。昭和五十四年春に甲南女子大学から赴任して以来、三十三年間奈良で過ごしたことになります。折しも、奈良女子大学は、明治四十二年の奈良女子高等師範学校開校から百周年にあたる年となり、その意味からも、これからの百年に向けての奈良女子大学のさらなる発展を皆さんに託して、私は奈良を去ることになります。

私は、奈良で主に理論的分野で教育学を担当してきましたが、一方では、学校教育に関する調査研究も行ってきました。調査研究の一環として、私は、奈良女子高等師範学校・奈良女子大学の卒業生の意識調査も手がけました。

調査可能な卒業生の最年長者は大正十一年度の卒業生となつてしまつてはいますが、卒業生から見たこの百年の歴史には、女高師と女子大との不思議な共応関係があり、それが学生の多様な奈良への帰属意識によつて糾われ、歴史に鮮やかに刻み込まれた百年があります。まさに多様な価値観が相克を繰り返し、大学の制度も変転しているのです。しかし一方では、奈良の伝統が脈々と流れ続けている不易の歴史があります。

なかでも、質問紙による調査を行つ

たところ、奈良女子大学を受験した理由と本学の評価では、昭和十二年からの総力戦体制期と女子大への昇格期、そして一九七九年度の大学入試共通第一次学力試験期に顕著な価値観の転換が見られます。つまり、総力戦体制のまった中の女高師時代には、女高師が、古都奈良にある女子の最高学府として、ロマンティックなあこがれとして認識される対象になる側面と現実的な女教師を育成するための専門的知識教授機関として認識される側面が共存しています。そしてそれらが大学昇格以降の女性解放の感覚・理念・思想に翻弄されながら、共通一次世代以降の個人的合理主義へと展開していく経緯もみうけられます。また、家庭的な女性観から隔絶した専門的職業人を養成するという女高師の評価から、リベラルな職業意識による評価へ、そしてそれが、社会人として男女共同参画社会に生きる女性としての価値観からの大学の評価へと変化してきている様子は実にダイナミックで、これからの女子大学の展開に示唆深いものと思われまふ。

一方、女高師時代の卒業生のエリート意識も、現在では全く異質なものと変化してきています。それは、女高師時代には、女高師に帰属することで顕在的にもたれていたエリート意識が、

現在では、自己自身の獲得した力や存在の成長感に帰属する限りにおいて顕在化するエリート意識へと変転していることです。両者とも、それぞれの人生を生きていくことにおいて、自己自身の生活を豊かにするものと思いますが、私個人は、潜在的に持っていた自己の特性や能力意識が大学での生活・活動経験によつて裏打ちされたエリート意識へと顕在化する現代の学生のエリート意識の方が、これからの世界には馴染むものと考えています。

これら両者のエリート意識と女高師・女子大の認識の構造には、共通の基盤があります。それは、卒業生が女子別学の高等教育機関として積極的に評価する本学の教学体制のあり方です。

多様な教育形態こそが教育における民主主義の徴表と考える私には、ここに女子大学の存在理由を見たように思えます。潜在的な自己の能力観を社会的エリート意識として顕在化するために、個人に、より適切な環境を用意する教育における民主主義の実現として、これからの女子大学は第二のステージを迎えるものと期待しています。

子ども学に希望はあるか

浜田 寿美男

文学部 教授
人間科学科 子ども臨床学コース



SUMIO
HAMADA

私は奈良女子大学に着任して七年間を過ごしてきた。その私の研究室の机に「心理学に希望は無い」と墨で大書した団扇が飾られている。これに目をとめた学生たちは、たいてい首を傾げて、それは何ですかと尋ねてくる。私もいちおう心理学を生業にしている身である。そういう人間が心理学に希望はないなどという標語を掲げているのであるから、これはいったい何なのだと思ってもおかしくはない。まして、これからその心理学を目指そうという学生たちにとって、やはり気がかりになるらしい。

心理学は心の科学だという。しかし心が科学の対象になりうるかどうかと考えるはじめると、これが簡単には答えられない。心はそもそも内側から生きる以外にないものだから、それを対象として客観的に見るということ自体が、言ってみれば自己矛盾である。だからこそ心理学は心を見るのではない、むしろその心の表れである行動を見て、そこに世界との法則的関係を探り出すのだ、などと言われてきた。

なるほど、それはそれでもっともな考えである。しかし一方で、人が自分の内側から周囲の世界と出会い、そこに「心」と言いたくなる何かを体験していることもまた否定できない。たとえば、希望にしても、絶望にしても、

それを人は自分の身体の内側から生きているのであって、その「希望」や「絶望」を身体から取り出して客観的に観察することなどできない。そのためだろ、私たちが日常的に心を物語る言葉として捉えている現象のほとんどが、実は、アカデミズムの心理学の対象から除外されている。

もう十数年も前になるだろう。あるときふと思いついて、わが国でもっとも定評のある大きな心理学辞典を取り出し、「希望」という項目を引いてみた。すると、案の定というべきか、大項目はもとより、小項目にも、あるいはインデックスにも、「希望」は見当たらない。心理学に「希望」はないのである。もちろん、同様に、絶望もなければ、後悔もない。反省もなければ、未練もない。それがアカデミズムの心理学と日常の心理学との違いだと言え、それはその通りかもしれない。しかし、この希望も絶望もない心理学が、はたしてどこまで人間の学でありうるのかという根本の問いは、やはり残る。

では、子ども学はどうか。私は本学に着任して以来、文学部で七年前にはじまった子ども学プロジェクトの一端を担う立場にいた。ただ「子ども学」とは言っても、まだ名ばかりで、これという理論や体系があるわけではない。

これから作り上げなければならない新しい学問だと言ってもよい。もちろん子どもを対象として実験観察し、調査し、論を立てるということならば、これまでも心理学の世界で、あるいは教育学、保育学、児童学の世界で、いくつでも子ども研究はあった。しかし、子ども自身がその身体の内側から世界をどのように生きているかを見ようとすると、研究のなかに根づいていない。そうだとすれば、子ども学にもまた「希望」の占める位置はない。

子ども学は本学で一応の認知を得て、種々の企画が動きはじめている。その子ども学が、はたして子どもの希望を語り、子どもの絶望を語ることでできるものになるかどうか。そしてそこに子ども学の新たな地平を拓くことができるかどうか。本学の子ども学のこれからに注目したいと思っている。



私の「最終講義」

鈴木 俊治

理学部 教授
物理科学科 物性物理学講座



TOSHIHARU
SUZUKI

夏休みも後半、人影のない構内を歩いて物理教室のあるC棟に面接試験のために向かった三十三年前の記憶がふと蘇って来ました。八月下旬か九月上旬であったか、はつきりとした日はもう思い出せませんが、修学旅行以来の奈良の地で、懐かしい気持ちになったのを覚えています。残暑が厳しく、まだ蝉の鳴き声が聞こえていたような気がします。

ところで、定年退職するにはいろいろな儀式をしなければなりません、『最終講義』もその一つです。私は何もせずに退職しようと思っていましたが、夏休み前に阪大のK先生から「こちらで講演をしないか」とのお誘いがあり、そうだーこの講演を私の最終講義にしよう、考えを変えました。

実は、数年前にもH先生の要請で阪大で講演をしたことがあります。私の研究テーマは「マルテンサイト相変態」で、この分野は最先端研究とはいえない、古くからの伝統的な研究分野の一つです。従って、私の研究に興味を持ってくれる先生方や学生も限られており、当初はH先生に悪いと思いつつ、お断りするつもりでした。ところが、「講演後何人かの先生に声をかけているので一緒に晩飯でも」という甘い言葉に負け、私の研究テーマの1つである「Cu-Zn-

合金マルテンサイト相の安定化機構」という題目で講演をしました。聴衆は十二・三人と予想していましたが、当日は小さい会場ながら、ほとんど満員に近い多くの先生方や学生が集まっていたきました。講演後、学生の皆さんからも熱心な質問を受け、久しぶりにアカデミックな雰囲気を感じました。帰り道で思わず鼻歌が出たほど満足しました。

もう一度、何が何でもアカデミックな雰囲気になりたいという気持ちを抑えきれず、K先生のご都合も聞き、十一月十七日に「(私にとっての)最終講義」を行うことにしました。題は「Au-Cr系合金のマルテンサイト相変態」としました。Au-Cr系のマルテンサイト相変態は、私がこちらに赴任してから一貫して研究してきたライフワークともいえるものです。「二時間ほど話して欲しい」ということで、六十五枚の図面を用意しました。準備のため、土・日曜日と大学に出てデータや資料の整理をしました。当時の思い出が蘇り、なかなか作業が前に進みませんでした。

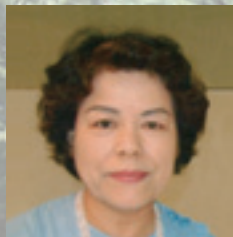
当日は朝から雨が降り肌寒く、「昼食を一緒に」と言っていたいただいたK先生との約束もあり、遅刻してはいけないう、約束の時間の三十分前には北千里駅に着きました。大学までの道は木々が多く、

春は新緑、秋は紅葉と、とても美しい並木道です。今回は雨のせいもあり、赤く色づいた葉がより鮮やかに映えていました。K先生、F先生、研究室の若手の方(院生か? 聞くのを忘れました)と私の四人で大学内のレストランで昼食をとり、講演に臨みました。講演を終え、幾つかの質問に答えたと、これで私の研究生活も最後と、少しですが感慨が湧いてきました。思いも掛けず、今は阪大の院生となっている私どもの研究室の卒業生五名全員と在学生が、授業や実験で忙しい中、私の講演を聴きに来てくれていました。この講演は私の思っていた通り「最終講義」に間違いなく確信しました。ありがとうございます。そして、もうすぐさようなら。

服飾研究の愉しみ

岩崎 雅美

生活環境学部 教授
生活文化学科



MASAMI
IWASAKI

「自分は服装に無関心である」という人も、面接や何か儀式があるときにはそれなりに衣服を選び、装っている。

衣服を身に着けると、単に着ているだけなら「フット・オン・ボトム」とか「ウェア wear」、人目を意識して着るなら「装（ドレス dress）」である。

自宅での服装は気温に適切で、動きやすく、洗濯のし易いものがよい。しかし、装いとなればたとえ寒かろうと超ミニのスカートをはいたり、蒸し暑くても上着を着たり、ブーツを選ぶ。これが他者を意識した装いの行為であり、服装である。

服装（人間が衣服を着けた状態）の歴史を紐解くと、時代、階級、職業、性差、富裕など、様々な社会現象が服装に反映していることがわかる。例えば家康は、質素倹約で知られているが、衣服の有様からみると、信長、秀吉と共に上質な服飾や舶載の染織品を多く所持していた。当時の衣服は褒美として家臣に与えられることもあったので、必ずしも地味なものばかりではない。政治の世界では、信長・秀吉から家康に人が変わると体制が大きく変わるが、服装の変化は少しずれて元禄の頃になる。服装の歴史には政治とは異なる時代変化があり、これは住居史や食物史にもいえることである。

また日本の特色であるが、自然や季節感が服装に反映することもある。

人間に最も近い衣服は人間と共に行動し、その人の立場や社会の状況を示すものであり、着用者が話すより前に、いや話さなくても、服装は他者に種々の情報を発信する。この服装の情報や意味を研究対象にすると、研究者らは「服飾」の用語を用いることが多い。

「服飾研究は人間を理解するための学問である」（谷田閑次氏の言葉）「服飾は無言のあなた自身の表現である」（アメリカ力の教科書の中から）などのように、服飾は人間研究の手段になっている。

服飾研究について、ある先輩は、「服飾を読む」（奥村萬亀子氏の言葉）と表現されたが、服飾研究は誠にその意味である。

服飾研究には服飾の実物資料はもとより、史料や文学作品など何か意味を掴む手がかりが複数必要である。しかし、古墳時代までの資料は墓からの出土品であったり、文字資料があっても具体的な服飾と合致しているかどうか疑問なときもある。着装になると、壁画か絵画でもないと言えないイメージに終わる。

服飾研究は難解な研究分野といえよう。

衣服は素材、色彩、文様、造形など種々の要素でできている。そのため、染織品として工芸に仲間入りしたり、着る

美術（アート・トゥ・ウェア Art to wear）と称して美的造形の対象にもなる。また、オートクチュールの作品は全ての要素を統合した新しい造形で、私たちに新鮮な息吹を与えてくれる。着るものでありながら、美的な造形として鑑賞されることは古今東西で変わらない。

日常のありふれた衣服でも、その組合せや着方に創造性を発揮して服装に自分らしさが創り出せる。

新しい衣服、上質な衣服、自分の感情に沿った衣服は、一種のセラピー的な要素があり、おしゃれな人は長生きするとも言われている。衣服はやっぱり、愉しく永い友達である。



私の生活環境学 —「生活環境学」の思い出—

磯田 則生

大学院人間文化研究科 教授
社会生活環境学専攻 生活環境計画学講座

NORIO
ISODA

家政学部住居学科生活環境学講座に着任したのは三十年前の一九八〇年の春だった。一・二回生を対象に最初に開講したのが「生活環境学」であった。講義内容についてあれこれ考えていた時に、大先輩の梁瀬度子教授（現名誉教授）から「生活環境は範囲が広いから何でもいすよ」とご助言頂いたので少し気の休まる思いをしたのを覚えている。「生活環境」については、「人の生活に密接に関係のある財産並びに人の生活に密接に関係のある動植物およびその生育環境を含むものとする。」（公害対策基本法、一九六七年とある。この中で財産とは文化的なものを含む社会環境であり、他は動植物を含む自然環境であると考えている。この自然環境については、専門である建築環境工学（音環境・空気環境・熱環境・光環境）の知識があり、特に騒音・大気汚染・給排水・温熱環境については、実験や調査も行っていたので、安心して次第である。

そこで、恩師である小林陽太郎先生（東京工業大学名誉教授）の建築衛生の講義資料や花岡利昌先生（名誉教授、故人）の著書『住居衛生学』などを参考にして講義ノートを作成した。世界保健機構（World Health Organization：WHO）提案の居住環境基準に基づく健

康住居の原則、気候と住まいの温熱環境（室内気候）、日照と日射、大気汚染、騒音防止、水質汚濁など環境衛生に係わる諸問題を健康への影響や防止対策を含む内容であったと記憶している。最も重視したのは健康であった。健康の定義は、WHO憲章の前文にある定義が一般に使用され、「健康とは、身体的、精神的および社会的に完全に良好な状態であって、単に病気でないとか、病弱でないとかいうに止まるものではない。」と和訳されている。生活環境における諸問題を考える場合には、第一に人間の健康から考えるべきと確信している。平成二十一年度開講の「生活環境と住居設備」においても、住環境学の立場から健康の定義や健康住居の六大原則（佐藤鑑著・住居衛生学、積文堂出版、一九五七年）についてはかなり丁寧に講義している。生活環境学の名称は、一九八一年発足の大学院人間文化研究科の「生活環境学」専攻や一九九三年の改組で家政学部が生活環境学部となり継承された。一九六四年に住居学科が誕生した時に「生活環境学」を講座名称にされた住居学科の先生先輩方の先見の明には、心から敬服する次第である。

また、生活環境学のもつ二つの柱には、日本国憲法に「健康で文化的な生活」

と明示されている社会環境の領域があり、文化的な生活を送るためには、住環境や地域環境などの空間環境を創造し、社会制度などを整備することが目標となる。生活習慣、建造物などの文化的なものは、その時代の生活や技術を反映して形成されたものである。その様なことから健康は生活環境学の原点であり、文化は到達点（目標）と言えるのではと考えている。

最後に、大変お世話になった「生活環境学」について思い出を記す機会を戴きましたことに感謝申し上げます。また、長きにわたりご指導ご支援を賜りました多くの皆様に心から御礼申し上げますと共に、奈良女子大学の益々の発展を祈念いたします。「健康第一」、
「継続は力なり！」本当にありがとうございます。

退職にあたって

坂本 信幸

大学院人間文化研究科 教授
比較文化学専攻 日本アジア文化情報学講座



NOBUYUKI
SAKAMOTO

奈良女子大学の構内に初めて入ったのは昭和四十四年の三月だったと記憶する。大学の卒業論文の一部を萬葉学会の機関誌『萬葉』に投稿するようにということで、奈良女子大学教授・森重敏先生に、投稿のための書き直しの指導を受けに来たのである。そもそも森重先生に指導を受けるということ自体がおかしなことであった。私が萬葉集を直接学んだ恩師は大濱巖比古という万葉学者であったから、本来は大濱先生が指導するべきところであったのだが、大濱先生は酒飲みの怠惰を自認しており、「ワシより森重の方が、適切なアドバイスをするから」というので、森重先生にご指導いただくことになったのである。論文は『萬葉』第七十三号に掲載されたが、私の学会デビューの論文は奈良女子大学の門を潜ったことによって生まれたといえる。まさかその大学に赴任するとは思ひもしなかった。縁といつかない。

赴任する前の大谷女子大学（現・大阪大谷大学）で十年、奈良女子大学に赴任して二十年と、計三十年の間を大学の専任教員として過ごしたことになる。奈良女子大学に来てまず感じたのは、学生が真面目すぎて萎縮しているということであった。共同研究室に我々教員が入って行くと、それだけで学生は

緊張し息を潜めるという具合で、教員に対して自由に発言ができないような雰囲気があった。それでは学生は伸びない。私はなるだけ自由闊達にもの言えるような雰囲気を醸成するように努めた。ゼミのコンパはそのために大いに役立ったが、やがて「坂本ゼミはお酒が飲めないと入れない」という伝説ができていたのには驚いた。

その頃はパソコンが導入され始めた頃であったが、研究室には旧型の富士通のコンピュータが使われることもなく置かれていただけで、およそ先端教育とはほど遠い状態であった。先生方はパソコンはおろかワープロ専用機すら使えないばかりで、研究費には機器を購入するような余裕もなく、同時期に赴任した千本英史氏と私とは、自宅のパソコンとは別に自費でパソコンを購入し研究室に置くような状態であった。もっとも、国文学界全体がまだパソコンなどの情報機器に目を向けていない頃ではあった。その頃私は、萬葉好きの異色の銀行マン・扇野聖史氏たちと一緒に、大阪ビジネスパークにある富士通関西システムラボラトリで萬葉集データベースを作成していたので、研究に必要なソフトもいち早く所持していた。爾来奈良女子大学の萬葉集研究は最先端を走ってきたといえる。

上代文学研究に必要な書籍が揃っていないことにも驚いた。奈良女子大学は奈良女子高等師範学校からの長い歴史と伝統があり、図書も十分な蓄積があると思っただけ赴任したのだが、基本的論文集が十分に揃っていないのは勿論のこと、上代文学会や、美夫君志会、古代文学会といった上代文学研究の学会機関誌すら蔵していなかった。学生の研究環境を整えることから始めなくてはいけなかった。

幸い現在は何とか学生が研究する態勢を整えることができた。研究に必要な機器もそれなりに揃っている。安心して言うことができる。「帰去来」（帰りなむ、いざ）

家族への手紙

KOTYO
KYOKU

曲 向超

大学院人間文化研究科 博士前期課程
特別聴講学生 言語文化学専攻

以下は、本学主催の第十六回
外国人留学生による日本語スピーチ大会（平成二十一年十一月六日）で優秀賞に選ばれ、奈良地域留学生交流推進会議主催のスピーチ大会（十一月十九日）で準優秀賞を獲得した内容です。

お父さん、お母さん、お姉さん

みなさんお元気ですか。私はずっと元氣ですので、心配しないでください。

この前、日本人の友達に、どうして日本では家族に対して、「ありがと」とか、「ごめんない」とかを言うのですか、他人行儀ではありませんか、と尋ねました。すると、その友達は、「いいえ、それは決して他人行儀ではありません。日本人は繊細で、常に相手の気持ちを理解しようとしているし、自分の気持ちも相手に理解してもらいたいとも思っているのです。だって、気持ちは言葉にしないと伝わりません」と答えてくれました。

なるほど、気持ちは言葉にしないと伝わりません。それで今日、家族のみんなに手紙を書くことにしました。

お父さんへ

お父さん、四年前に交通事故に遭って以来、お父さんはずいぶん変わりましたね。当時、お医者さんに「一命は取り留めましたが、脳神経を損傷しているのです、これから言葉には多少支障をきたします」と言われました。お父さんはずっと弁舌の才を自慢していたので、交通事故は青天の霹靂でした。話をするにも上手く話せない、焦ると更にもっとしてしまふ。

余りにも残酷な現実を素直に受けとめられなくて、「何で落ち度のない私がこのように目に遭ったのか」とお父さんは何度も苦しそうに言っていました。しかし、お父さん、確かに時間はもどに戻せない

し、起きてしまったことを消すことは出来ません。でも、悲しい記憶は希望で消し、涙は笑顔で消すことが出来ます。

だからお父さん、もう苦しうに眉をひそめるのをやめて、一度笑顔を作ってみてください。久しぶりにお父さんの笑顔を見たら、家族みんな、きつと大喜びしますよ。お父さんはどんなお父さんになっても、私たちの大事な大事なお父さんなのですからね。

PS お父さんの笑顔、大好き！

お母さんへ

お母さん、もう一人で泣くのはやめてください。みんなに心配させない為に、一人で夜中にすすり泣いていたお母さんの姿を、私は寝たふりをして見ていましたよ。辛抱して弱音を吐かないのは、体に良くありません。だから、これから何かあったら、お姉さんや私に話してくださいね。話せば、辛いことが半減します。お母さんは、家が貧しかった時にも、ずっと私たち姉妹に何も言わずに、一人で耐えて、いつも夢と希望を持たせてくださいましたね。これからは、私たちが、お母さんに夢と希望を持っていただきたいのです。

PS 字も余り読めないし、携帯電話

もうまく使えないお母さんですけれども、私の理想とする憧れの人です。

お姉さんへ

お姉さん、今まで、お姉さんに「ありがと」と言ったことは一度もありませんでした。でも、心の中では、ずっとお姉さんに深く感謝しています。私が遠く離れた大学で勉強しているため、お父さんとお母さんの面倒は、全部お姉さんが見てくれました。小さい頃、頑固で我がままだったお姉さんは、いつの間にか、優しく辛抱強い性格になりました。特に、お父さんが交通事故の治療を終えて退院したばかりの頃、お父さんは怒りっぽくて、何かというときすぐ大声を出して、お姉さんは毎日何度も叱りつけられていました。でも、お姉さんは愚痴をこぼしませんでした。その上、お父さんの機嫌を取るために、いろいろな思案を巡らしていました。お姉さんは、本当に偉いですね。

PS 平成二十二年の春に帰国するとき、お姉さんが困るほどたくさんブランドの化粧品を買って帰ります。きれいなお姉さんをもっと輝かせてあげたいのです。

ところでみなさん、苦しい時や困ったときには、家族に言葉をかけて支え合うのも大切ですが、これからは、家族だけではなく、もっと視野を広げて、周りの人や、遠くにいる人にも、優しい言葉をあげたり、もったり出来たら素晴らしいと思います。

私の日本での生活と研究、 そして夢

KARIMA
MOHABY

Mohaby Karima

大学院人間文化研究科 博士後期課程
複合現象科学専攻 二回生

私はカリマと申します、名字はモハビです。アフガニスタン出身です。二〇〇八年の十月に日本にきました。日本での生活と勉強の思い出について話そうと思います。

二〇〇三年カブル大学の理学部を卒業して、二〇〇四年の十月に、修士課程の勉強をするために初めて日本にきました。初めは日本での勉強と生活が好きではありませんでした。なぜなら、日本語がわかりませんでしたし、また、家族と離れて一人で暮らすことが私にとって難しかったからです。アフガニスタンでは家族と一緒に住んでいました。毎日朝ごはんと晩ごはんと一緒に食べていました。日本では、ひとりで食べなくてはいけなくてとてもさみしかったです。日本では学生は朝から晩まで、いつも勉強しています。インターネットも使えますし図書館の本も使えます。でもアフガニスタンではそうではありません。

アフガニスタンでは三十年以上にわたる戦争のため、私は勉強をすることが困難でした。アフガニスタンの人々はあらゆる面で、特に科学や技術の面で、立ちおくれしてしまったのです。カブル大学はアフガニスタンでは一番大きな大学で、一万三千人の学生がいます。でもインターネットの設備はなく、私

が学生だったときは、図書館はいつでも開いているわけではありませんでした。

日本での最初の頃は多くの問題にぶつかり、しかも助けてくれる友達もいませんでした。私はどうやってたらアフガニスタンに帰れるのか、いつも考えていました。でも、だんだん状況は変わってきました。少し日本語をならい、いろいろな国の友達を作ることができました。特に、日本の友達は私の生活における全てについて助けてくれました。そして私自身の努力と、富崎先生のすばらしい助言のおかげで、勉強中の課題を解くことができましたし、また課題から多くのことを学びました。それから孤独を感じることはなくなり、日本での勉強を楽しみました。二年と六カ月のあいだ、東京、大阪、神戸、そして京都という美しい都市に行ったりしました。

二〇〇七年三月に、私は奈良女子大学の修士課程を修了し、国へ帰り、アフガニスタンで仕事に就きました。でも、どうやら日本へ帰れるか、いつも考



修士課程卒業の記念写真

えていました。そしてとうとう決心して、私は二〇〇八年の十月に日本に帰ってきました。いまは博士の二回生で、主専攻は数学で、先生は谷口先生です。私が研究するために奈良女子大学を選んだのは、彼や、数学科の先生方がとても親切で、いつも私を助けてくれるからです。私はとても幸福です。

去年、私は奈良女子大学学園祭を楽しみました。私はアフガニスタンの文化・生活・教育の紹介をしました。また、いま数学専攻修士課程にいるアフガニスタンから来たアデーラさんと日本人の友人の助けで、ボラニと呼ばれるアフガニスタンの料理を紹介しました。博士課程を修了したら国に帰ってカブル大学で数学を教えたいです。それから日本で勉強した全てのこと（ライフスタイル・研究の進め方など）を教えて国の発展を助けたいです。



大学祭での展示

セカンドチャレンジ

川上 知恵

生活環境学部
住環境学科 三回生

二〇〇九年四月、私の第二の大学生
活がスタートした。二度目の入学である。
三年次編入を考えたのは、以前いた大
学よりももっと「建築」を勉強したか
ったからだ。そして、一緒に建築のこ
とを語り合える友人が欲しかったからだ。
編入までの道のりは長いものだったが、
編入してからの道のりも、長いことを
知った。

前期の授業数は思っていたより少な
かったが、授業一つ一つに課されるレ
ポートや設計課題をこなすことを考え
ると、思っていたより忙しい生活とな
った。三回生から新しい大学で学ぶと
いうことは、想像以上にハードで、ま
た濃い日々である。

入学当初は「建築に関することは目
一杯吸収してやる!!」という思いで、
取れる範囲の全ての単位を取得しよう
と思った。前期のうちはどれだけ自分
がこなせるのかもわからずとにかく必
死だった。前期を終えて単位が出たと
きにやっと、「なんだ、やればできるじ
ゃん!」と思った。諦めないことが肝
心だ。しかしやはり、落ち込むことも多々
あった。設計も、他の授業のレポート
と同時にこなすしんどさから、途中で
あれこれ考えるのを止めて提出期限の
ことだけ考えた。出来を見ると、自分

なりにがんばったつもりだが納得いか
ないものだった。他の作品を見ては、「ど
うして諦めてしまったんだろう、どう
して私はこんなにテキトーな性格なん
だろう、建築にはむいていない、建築
がやりたくて編入したのに」と落胆した。

そして私は、建築がやりたくて編入
したと言いながら、実は高校家庭科の
教員免許も取得しようと、教職の単位
も取っている。前の大学では一度は教
員への道を考えてものの、建築は忙し
いからどうせ無理だと教職科目は一切
取っていなかった。しかし今、真剣に
将来のことを考え始めると「本当に自
分にとってやりがいのあることは何だ
ろうか」と現実的に自分自身に問いか
けるようになった。それは自分でもわ
からないことで、可能性はたくさんあ
ると思った。

私は自分の素質が生かせるものの一
つに「教員」という選択肢があること
に気付いた。だから、できるのなら欲
張りかもしれないがやってみよう、と
思った。

夏休みが明け、後期になるとゼミ配
属と共にさらに忙しい生活が待っていた。
まさに大学にこもる生活だ。なぜこん
なに忙しいんだろうと考えた時、自分
の要領が悪いのかと悩むときもある。
しかし、そんな無茶な生活をなんと

か乗り越えられるのも、本当に友人に
恵まれたからだと思っている。大変だ
けれど、笑いあえたり相談しあえる友
人がいるから、不安なことも忘れて笑
って乗り越えられる。奈良女子大学で
良かったと思うことは、そんな仲間に
出会えたこと、先生が素晴らしく、
そして身近であるということ。見守っ
てくれているという実感があるという
ことだ。私のような学生を受け入れて
もらえて、本当に感謝である。入学し
た時点で三回生であるし、忙しいこと
もあってサークルには入れなかったが、
なぜだろうかととても充実している。



3回生の住環境学学外演習（合宿演習）にて
私と同じ編入・転学科の友人と

十年前の私、十年後の私

林 久美子

文学部 言語文化学科 日本アジア言語文化学専攻
平成十二年卒業
株式会社奈良新聞社ならリビング編集室

私が大学を卒業して、この春で十年になる。県内出身の上、現在も職場は奈良市内で自宅からの通勤。加えて大学のオーケストラの練習にOGとして参加させてもらっており、年に数回は大学にも出入りしているので完全に卒業したという気はいまだにしない。

十年前は今年に負けず劣らずの就職氷河期で、大学四回生の秋によく滑り込んだのが現在勤めている地元の新聞社である。大きくいえばマスコミという職種であるが、この職種は幅も広く奥も深い。会社の規模や地域、それぞれの社風によって仕事内容はまったく異なるのではない。

今、私が携わっている生活情報紙の編集という仕事は、取材をして記事を書くことが主ではあるが、食事会など紙面を通じて募集するさまざまな事業の企画も行っており、これまた幅広い仕事内容である。就職活動中、「何か文字に関わる仕事に就きたい」と思っていたので、大卒としては思っていた仕事をしているのかもしれない。

文章を書くのは嫌いではない。だからこそ選んだ学科、職業ではあるが、仕事で文章を書くようになり、自分の書いた物が数十万部と印刷されて配られ、読まれるかと思うと、最初は恐ろしい気持ちになった。しかし仕事であれば

そんなことも言っていられない。次々に締め切りはやってくる。恐ろしいと感じる前にこなす必要があった。

失敗することもある。確認ミスで迷惑を掛けお叱りを受けたこともあった。悩みすぎるところは大学時代からまったく成長しておらず、テーマが絞り切れずに文章が進まないこともある。そんな時、卒業論文の口頭試問で担当の先生が「逃げてない文章だ」と言ってくださったことを思い出す。悩みに悩んでようやく書き上げた卒論はおそらく酷い出来だったはずで、まったく自信もなかったが、その言葉に救われたように思う。

時には取材した人や読者から「あの記事は良かった」というお便りや感想をいただくこともある。最初にもらったそのお便りは、今でも会社の机の中に残してある宝物である。

この十年間を思うと、卒業後に私が進んだ道はベストであった訳ではないと思う。ただ、もう一度十年前に戻ったとしても、私は同じ道を選ぶのではないかと思う。大学時代の友人は一生付き合える親友として大切な存在になっており、年賀状だけの付き合いになっっている友人も、会えば昨日まで大学時代が続いていたかのように話せる

KUMIKO
HAYASHI



奈良女子大学管弦楽団ブラハ公演記念演奏会
(2008.2.17) の際に

自信がある。一昨年には現役生と一緒に、オーケストラのプラハ公演にも参加させてもらった。そんな大学時代のつながりを持つことが「卒業したという気がしない」ということなら、今のままで良いのではないかと思う。

今卒業していく人たちも、十年後はいろいろな道に進んでいることと思う。私も成功している人もいるだろうし、すでに何人か子どもを持っている人も多いことだろう。ただ、その時に「これで良かった」と思える道を進んでほしいと思う。そしてその中に奈良女子大学とのかかわりが何かあれば、それが「同窓生」というもののなのだろう。私もこれからの十年、奈良女子大学の同窓生として、これで良かったと思える人生を歩みたいと思う。

夢に近づいた瞬間！

藤岡 教子

生活環境学部 生活環境学科 アパレル科学専攻
平成十七年卒業
株式会社フーエルNORIKO
FUJIOKA

私が『奈良女子大学』という学校を選んだ理由はただ一つ。大好きな衣服について学べる『アパレル科学専攻』があったからです。高校生のころから、服を作るのが大好きで、将来は絶対ファッション関係の仕事に就きたい!!と思っていました。大学四年間、どつぶり衣服と関わる勉強ができたこと、かけがえのない仲間ができたこと、奈良女子大学には感謝でいっぱいです。そして、今――。

『下着を通して、外見が美しくなること』とはもちろん、内面も自信にあふれて美しくなれる――世の中の女性にそんな幸せを与えたい。自分が携わった商品で、多くの人に喜びや感動を与えたい――

いっぱい悩んで、いっぱい迷った末に出た、シンプルだけど本音が全てつまった志望動機を掲げて、ワコールに入社。それから三年が経とうとする頃、第一志望の商品企画部に配属され、職場の先輩にも恵まれ、設計に関して無知だった私を丁寧に指導して頂いて会社感謝する反面、自分自身の知識のなさ、技術の乏しさを痛感していました。いつになれば、一人前になって、世の中の女性を美しくすることに貢献できるんだろう? あせりと不安が交錯する中、ある企画が舞い込んできました。

「あるブランドの新しい機能ブラジャ

ーを開発しよう」ターゲット年齢は二十三歳。たまたま年齢が近かったからか、恐れ多くもその開発ボタンナーに抜擢されました。初めは、そこまで興味があったわけでもありませんでした。しかし、開発業務を進め、調査や検討をする中で、ブランド戦略やマーケット調査がどういうものかを肌で感じ、そのブランドにも、開発という業務にも、だんだんのめり込んでいきました。『ボタンナーとは、決定したマスターサイズのデザイン・材料・機能を守り、サイズ展開し、量産可能なものに作り上げる』――そんな、ルーチンワーク（誰がやっても同じ仕事）のイメージだったのですが、自分が良いと思った機能を提案して開発できる、自分にはできない仕事がある、そんなボタンナーの醍醐味を知りました。

一方で、経験が浅く知識もない私が、新しい設計手法を考え出し、着用面・品質面・縫製面：どれもワコールの基準でクリアさせるには、至難の業――新しいものを生み出すことの難しさを痛感し、自分の無力さに何度もくじけそうになりました。しかし、様々な人に助けられ、支えられて、試行錯誤を繰り返して、一年の歳月をかけて、ようやく量産へとこぎつけることができました。私自身も含めて、周りの関係者の方々の、新商品開発への強い想いと、『絶対成功する』とい

う確信、『少しでも良いものを創るためには妥協しない』というものづくりへの徹底したこだわりと情熱があったからこそ、達成できたことだと思っています。

初めて店頭に出ているのを目の当たりにした時、販売員さんから「着用感に満足されて購入してもらえる」という話を聞いた時、じわりと熱いものがこみ上げてきました。それまで一番、ものづくりに携われて良かったと感じた瞬間でした。自分の仕事に誇りを感じ、この仕事をさせてもらっていることに感謝し、もっと経験を重ね、技術を磨いて向上していきたいと、心から思いました。

さて、発売後、商品は好評で、今では定番商品となっています。

学生のみなさんも、どうか諦めずに、夢に向かって羽ばたいて下さい!!



「せやねん」の収録で、かつみさゆりさんが来社した際、本社正門入口で撮影。

就職内定状況（中間集計）

平成21年度（2010年春）卒業・修了生にとっては、一昨年秋以降の深刻な経済危機により、各企業が新卒採用を絞り込み、「就職氷河期の再来」とも言われる厳しい就職環境となっています。求人は大きく落ち込み、情勢は厳しさを増しています。

未だ就職活動中の人にとっては大変厳しい状況ですが、大学の教職員の支援も受け、最後まであきらめずに希望の就職先を見つけてほしいものです。

また、平成22年度（2011年春）卒業・修了予定者の就職戦線についても、厳しい状態が続くことが予想されます。次年度就職活動をする人は、どのような状況であっても対応できるよう、今から入念に準備をして下さい。

以下は、平成21年度卒業・修了予定者の平成21年11月30日現在の就職内定状況の中間集計です。

平成21年度卒業・修了予定者の内定先企業等一覧

【学 部】

（ ）内は、複数内定者の人数を示す。

産 業 別 内 訳		就 職 先 企 業 等 名 称		
		文 学 部	理 学 部	生 活 環 境 学 部
建 設 業		東急建設		アサヒアレックス、カシワバラ・コーポレーション
製 造 業	食料品・飲料・たばこ・飼料	マルト神戸屋	玉乃光酒造	キッコーマン、三立製菓、タマノイ酢、東洋水産
	織 維 工 業	加茂繊維、ワコール		フジコー、ワコール
	印 刷 ・ 同 関 連 業	オカハシ、共立印刷、十一房印刷工業	大日本印刷	大日本印刷
	化学工業、石油・石炭製品	武田薬品工業	ノエビア、四日市合成	アボットジャパン、大日本住友製薬
	鉄鋼業、非鉄金属・金属製品			YKK AP
	汎 用 ・ 生 産 用 業 務 用 機 械 器 具	東芝	中村ブレイス、マニー、三菱重工業 三菱電機、森精機製作所	
	電気・情報通信機械器具	オンキヨー、パナソニック電工		
	輸 送 用 機 械 器 具		ダイハツ工業	近畿車輛
電気・ガス・熱供給・水道業				
情 報 通 信 業 (通信・マスコミ・情報処理)		アークシステム、ジュビターテレコム T I S、日本ラッド 文藝春秋、メディア	アドソル日進、N T T データ 住友電工情報システム、データプロセス パナソニックアドバンステクノロジー 三菱電機マイコン機器ソフトウェア	J S O L、ジスインフォテクノ スミセイ情報システム、T I S 西日本電信電話、日本システム技術
運 輸 業		ANAエアサービス東京、ジェイエア、第一貨物		ANAエアサービス福岡、神戸電鉄、東京急行電鉄
卸 売 ・ 小 売 業	卸 売 業	マクニカ		甲陽ケミカル、J A 全農青果センター フードサービスネットワーク
	小 売 業	コカ・コーラウエスト、セイコーマート 高島屋 (2)、ポーラ	関西スーパーマーケット	青木松風庵、ケーヨー 生活協同組合コープこうべ (2) ニトリ、豆源、マルタ、ヨドバシカメラ、ワゴン
金 融 ・ 保 険 業	金 融 業	豊橋信用金庫 三菱東京UFJ銀行	今村証券、山陰合同銀行 十六銀行、南都銀行	滋賀銀行、名古屋銀行、南都銀行、西兵庫信用金庫 みずほ証券、三菱UFJニコス
	保 険 業	かんぽ生命保険 (2)、東京海上日動あんしん生命保険 奈良県信用保証協会、パナソニック保険サービス 三井住友海上火災保険		日本生命保険相互会社
学 術 研 究 院 等 専 門 技 術 サ ー ビ ス 業	産 業 動 産 不 動 産 取 引 ・ 貸 貸 ・ 管 理 業			トヨタすまいるライフ
	そ の 他 の 専 門 技 術 サ ー ビ ス 業		ジェイテック	S D ネットワーク構造設計事務所 日本繊維製品品質技術センター はるえ動物病院
	宿泊業、飲食サービス業	大和リゾート		日本マクドナルド

【学部】()内は、複数内定者の人数を示す。

産 業 別 内 訳		就 職 先 企 業 等 名 称		
		文 学 部	理 学 部	生 活 環 境 学 部
生活関連サービス業 娯 楽 業		ナウ		JTB大阪、白洋舎 ラウンドワン
教育学習支援業	学 校 教 育	公立教員	福井県教育委員会	愛知県教育委員会
		私立教員	東高殿幼稚園(2)	山梨県教育委員会
	事 務 他	学校法人河合塾	横浜英和女学院	
	その他の教育、学習支援業	ケーイーシー		
医療福祉業	医 療 業			医療法人財団石心会
	保 健 衛 生			山梨県厚生連健康管理センター
	社会保険・社会福祉・介護業			慶生会
複 合 サ ー ビ ス 業			愛知県信用農業協同組合連合会	奈良県農業協同組合、郵便局
公務員	地 方 公 務	奈良県庁、大津市役所 岐阜市役所		滋賀県庁、鳥取県庁 木津川市役所、阿久比町役場

平成21年度卒業・修了予定者の内定先企業等一覧

【大学院(博士前期課程)】()内は、複数内定者の人数を示す。

産 業 別 内 訳		就 職 先 企 業 等 名 称		
		国 際 社 会 文 化 学 言 語 文 化 学 人 間 行 動 科 学	数 学 物 理 科 学 化 学 生 物 科 学 情 報 科 学	食 物 栄 養 学 生 活 健 康 ・ 衣 環 境 学 住 環 境 学 生 活 文 化 学
製 造 業	食料品・飲料・たばこ・飼料		オイシス、日本酪農協同	ハウス食品
	化学工業、石油・石炭製品		泰光油脂化学工業	
	鉄鋼業、非鉄金属・金属製品		日立造船(2)	ノーリツ
	汎 用 ・ 生 産 用 業 務 用 機 械 器 具		京セラミタ 東芝(2)	
	電子部品・デバイス・電子回路			
	電 気 ・ 情 報 通 信 機 械 器 具		パナソニック、富士通テン 三菱電機(2)、富士通(2)	
	輸 送 用 機 械 器 具		日産自動車	
	そ の 他		サクラクレパス、山本光学、富士ゼロックス	
電気・ガス・熱供給・水道業				
情 報 通 信 業			NTTデータ、日本コンピューター・システム 日本システムウエア パナソニックアドバンストテクノロジー	NTTデータネット パナソニック電工インフォメーションシステムズ
小卸 売 業	卸 売 業		エム・アンド・ビー・フローラ 阪本薬品工業	卑弥呼
構 造 工 業	そ の 他 の 専 門 技 術 サ ー ビ ス 業		JCLバイオアッセイ 野村総合研究所	
学 教 育 支 援 業	学 校 教 育	公立教員	京都市教育委員会	新潟県教育委員会
	その他の教育、学習支援業	京進		
福 祉 業	社会保険・社会福祉 介 護 事 業	社水仙福祉会		
複 合 サ ー ビ ス 業				郵便事業
サ ー ビ ス 業	専 門 サ ー ビ ス	日本体育協会	シミック 日本原子力研究開発機構	梓設計、NTTファシリティーズ 中央損保鑑定事務所 日本繊維製品品質技術センター、東京CRO
	学 術 開 発 研 究 機 関			
	その他のサービス業		WDBエウレカ(2)	
公 務 員	地 方 公 務			奈良県庁

体育系

■卓球部

①4人②水・金曜16時半～20時、土13時～17時③前・後期各500円④私達はいつも一生懸命に、そして楽しく卓球に励んでいます！奈良教育大学とは合同練習をしたりして、とっても仲良しです♪初心者・経験者どなたでも大歓迎♡一緒に卓球しましょう☆

■なぎなた部

①9人②火・木16時半～、土9時半～③月500円④私たちなぎなた部は皆で仲良く活動しています。部員のほとんどが大学から始めた初心者ですが、卒業までに二段を取れます!! 興味のある方は是非見に来てください☆一緒に充実した大学生活を送りましょう♪

■バスケットボール部

①13人②毎週月・木16時半～19時、土9時～12時③毎年5,000円+登録料3,000円④バスケットが大好きという方、大歓迎です。時に楽しく、時に厳しく私達と一緒にバスケットをしませんか。プレーヤー、マネージャーどちらも大歓迎です!! ぜひ一度見に来てください。

■バドミントン部

①14人②月・水は16時半～、土は13時～③月1,000円④部員はみんな仲が良く、リーグ昇格を目標に自分たちで練習を工夫しながら元気に活動しています。部には経験者も未経験者もあり、お互いを刺激し合えるよい環境です。ぜひ一度体育館へお越しください♪

■バレーボール部

①19人②火・金は17時～土は13時から第一体育館③月1,000円④春と秋のリーグ戦での昇格を目標に楽しく練習しています。初心者・経験者ともに大歓迎です!! バレーボールを通して充実した大学生活を送りましょう。ぜひ、見学に来てください!

■硬式テニス部

①10人②毎週火・水・土と隔週日曜③月1,000円④初心者OK! 経験者ももちろんOK! テニス歴は関係ありません。先生やコーチは熱心に指導して下さいます。技術を向上させながらかけがえのない経験ができますよ。奈良女のキレイなコートで待ってます♡

■サッカー部

①18人②毎週水曜16時半～土曜13時半～③月500円④部員は、ほとんどが大学からスタートですがヤル気次第でどんどん上手くなります! 必要なのはサッカーが好き♡という情熱だけ! プレーヤーもマネージャーも大募集! グラウンドで待ってまーす!!

■水泳部

①12人②シーズン中(4～8月)は、平日2回以上③0円④初心者も大会上位入賞者もマネージャーも(笑)みんな仲良く楽しく泳いでいます。奈良教育大学との合同練習のため友達2倍、先輩2倍!! ちょっとでも興味を持った方なら、いつでも入部大歓迎です!!

■スキー部

①8人②シーズンオフは週2回、シーズン中は白馬五竜で宿舎と居候、よませスキー場で大会。③初年度無料、2回生からは年1万円。④白銀の世界を滑り抜ける爽快感は、一度経験するとやみつきに!! 初心者大歓迎!! 私達と一緒にスキーをしてみませんか?

■ソフトテニス部

①11人②月・木16:30～、土13:00～学内テニスコート③月500円④みんな仲が良く、いつも熱心に練習をしています。コーチが丁寧に指導して下さるので、上達すること間違いなし!! 初心者の方も大歓迎です♪楽しい部員の仲間入りをしませんか? お待ちしています♡

■合気道部

①20人②毎週火・木曜17時半～第二体育館、金曜18時15分～鴻ノ池道場③月1,600円(オフの月は無し)④合気道は、体一つで出来る武道です。運動未経験者でも全く問題ありません!! 武道(護身術)に少しでも興味のある方は是非一度見学・体験をしに来てください!!

■アイススケート部

①6人②不定期③特になし④私達は大阪のリンクで甲南、大阪府立、大阪経済大学と合同で練習しています。部員のほとんどが初心者ですが、ジャンプもスピンも出来るようになります☆好きな音楽・好きな衣装であなたも氷上で舞ってみませんか?

■弓道部

①18人②毎週火・木曜16:30～、土曜9:30～③毎月1,000円④弓道は、老若男女問わず楽しむことができるスポーツです。形の美しさ、矢を放つ時の心地良い緊張感は、格別のもので。初心者でも段位取得が可能です。興味のある方は、弓道場まで!

■剣道部

①10人②月・木・土③月1,000円④ピリッとした稽古中の緊張感…でも面を取れば和気あいあい♡皆仲良く楽しく剣道してます! 初心者も大歓迎! 段位も取れるし礼儀作法も学べます。爽やかで充実した大学生活を送りたい! という貴方は是非剣道部へ☆

■KGK ーキリスト者学生会ー

①3人②週1回のバイブルスタディ、春季・夏季キャンプ等③無料④今も昔も、世界中の多くの国の人に読まれ続けてきた聖書について学んでみませんか？クリスチャンでもそうでない方も学年問わず大歓迎です(^o^)/♪♪

文化系

■古美術研究会

①37人②週1回ミーティング、月1回遠足、年1回合宿・部誌「飛天」発行③入部時1,500円④関西を中心に、寺社仏閣・お祭り・年中行事を見学に行きます。特に堅苦しいこともなくゆったりとした活動です。興味のある方は気軽に参加してみてください。

■茶道部

①24人②火曜昼休みミーティング、木曜お稽古、10月に秋茶会、春夏に合宿③月2,500円程度④学館大和で3人の先生方に教えて頂いています。大学から始めた初心者も多いので、茶道に少しでも興味のある方は気軽にご参加ください！お待ちしております♪

■写真部

①10人②個人での撮影活動、夏季撮影合宿、学祭での展示など③なし④写真に興味のある方、大歓迎です!!どんなカメラでもOKです♪活動日は特にないので、兼部やアルバイトとの両立にも最適です。入部すれば暗室を自由に使えます！未経験者も大歓迎☆

■書道部

①20人②毎週月曜学館3階和室③前・後期各5,000円④主に学祭での書展、その他文部科学省認定の書写検定も行います。自由に作品制作をしており、講師の先生と共に楽しく活動しています。夏に合宿あり。
http://www.geocities.jp/nwu_shodo/

■E.S.S

①29人②放課後と昼休みに週2回ずつ全体活動③入部時1,500円、年間4,500円④ディベート、ディスカッション、スピーチ、ドラマを通して英語能力の向上を目指しています。他大学の友達もいっぱいできますよ☆ぜひ、一度遊びに来てください♪

■演劇部 劇団いちご大福

①6人②毎週水・金4コマ後③公演ごとに④この文を読んでいるそこのあなた！あなたが私達には必要です。経験なんて問いません。身体ひとつとやる気さえあれば何でもできます。学館3F和室にて、あなたをお待ちしております。ぜひ気軽に遊びに来てください！

■華道部「花こみち」

①23人②月3回程度月曜日17時～中集会室にて③お稽古代1回1,600円④毎回池坊の先生をお迎えしてみんなで楽しくお稽古しています。初心者はもちろん2・3年生の方も大歓迎！興味のある方はいつでも見学や体験にいらしてください。

■競技かるた部

①12人②毎週月・火・木16時半～③年間1,000円④競技かるたは小倉百人一首を用いた『暁の上のスポーツ』です。多くの大会があり、他大学とも沢山交流が持てるとも楽しい競技です。経験者の方も初心者の方も大歓迎！是非一度遊びに来てくださいね！

■ハンドボール部

①13人②毎週火・金③月に500円④私たちは春と秋にあるリーグ戦に向けて日々練習に励んでいます!!私たちのチームは多くの子が初心者なのでハンドをやったことがない人でも大丈夫☆先輩が丁寧に教えてくれます♡楽しいイベントもありますよ♪☆☆☆部員大募集☆☆☆

■舞踊部

①29人②毎週月・水・木16:30～19:00頃③月300円程度④バレエを基礎に、ジャズダンス・HipHop・宝塚など様々なジャンルを踊っています。初心者も活躍中！身体が固くても大丈夫♪みんなで楽しく踊って一つの舞台を創るのは最高ですよ!!照明・衣装Staffも募集中☆

■モダンダンス部

①21人②毎週月・金16時半～③月1,000円④創作ダンス、ジャズダンスを中心に様々なスタイルのダンスに取り組んでいます！プロのレッスンも受けられますよ☆発表会・学祭などイベントも盛り沢山！楽しい大学生活になりますよ!!初心者大歓迎です♪♪

■ラクロス部

①21人②月・火・木16:30～、土9:00～③毎月1,000円④ラクロスは、大学から始めるスポーツだから、スタートラインはみんな同じ！日本代表だって夢じゃない!!他大学との交流が多いのでたくさん友達ができます!!仲の良いラクロス部を一度見にきてください☆

■陸上部

①21人②月・水・木16時半～③なし④ジョギングを楽しみたい人から競技としてバリバリやりたい人までいろんな部員がいます☆イベントもたくさんあって、キャンパスライフを謳歌するには申し分ないです。先輩も優しいんです!!さあ一緒に走りましょう♪

音楽系

■音楽部

①23人②毎週月・水・金の17:30～19:30③月1,500円④女声合唱のサークルです。コンクールや12月の定期演奏会に向けて楽しく練習しています。プロの先生の指導が受けられるので、初心者でも経験者でもどんどん上達できますよ♪歌好きは音楽部へ!!

■管弦楽団

①45人②月・水・金17時～③月3,000円④年2回の演奏会の他、商業・福祉施設等への依頼演奏等、学内外で演奏活動をしています。楽器初心者・経験者問わず、本気で音楽をやりたい方大歓迎です!ドラマやマンガでオーケストラに興味を持った方も是非どうぞ♪

■ギターマンドリンクラブ

①41人②月・水16:30～③月1,000円④私たちは年2回の演奏会に向け、楽しく和気あいあいと活動しています!音楽経験がなくても大丈夫☆楽器を弾く喜び、合奏の楽しさに目覚めること間違いなしです!!ぜひ見学・体験に来てみてください♪

■軽音楽部

①35人②火曜昼休みミーティング、年4回ライブ③月1,000円④初心者大歓迎!!好きなバンドの曲をやったり、自分達で曲を作ったり…一緒に充実した軽音生活を送りましょう☆ライブハウスでの演奏や他大学との交流もできます♪是非来てください!!

■みどり組

①15人②毎週木曜昼休みのミーティング、月1または季節毎に活動を企画。③活動時必要に応じて徴収。少なめです。④身のまわりの自然とふれあい楽しめる企画を考え活動しています。ぜひ、気軽に遊びに来てください。

■わかたけ会

①20人②火曜日昼休み、月1回プレイ③交通費のみ④京都府八幡市に住む障がいを持った小学生と遊んでいます。内2回は、市内の作業所で働く方達とも交流します。企画・運営が好きな方、ボランティアに興味のある方、教員を目指している方、お待ちしております。

■教育問題研究会

①11人②週2回の例会、長期休暇(春・夏休み)中の合宿③月500円④研究と言っても堅苦しくはありません。部員が興味あるテーマを調べ、楽しく語りあっています。昨年は「つくる会」教科書の問題性と採択率増の背景などをやりました。気軽に来てね!

■社会科学研究会 葦の会

①11人②週2回部会③月200円④今社会で問題になっていることについて、年間テーマを決め、みんなで分担して研究を進めます。昨年は子どもの貧困問題について調べました。部会ではみんなで和気あいあいとやっています。合宿やフィールドワーク、他大学との交流あり。新入部員大歓迎です!

■恋都祭実行委員会

①13人②月・水曜昼休みのミーティング、合宿③なし④通称コトジツは、奈良女の学園祭である「恋都祭」を成功させるために日々活動しています。運営から企画、看板作りに至るまで。時に楽しく、時に真剣に、時に華やかに!コトジツで色々な思い出を作りましょう♡

■天文部

①25人②火曜昼休みのミーティング③年1,000円④毎週火曜日の昼休みに学館3階和室でミーティングをしています。不定期で観測会を行ったり、夏休みには合宿、学園祭ではプラネタリウムをします。他大学との交流もあります。星が好きの方はぜひ来てみてください!

■点訳部

①8人②週1③なし④普段はのんびり点字の練習や盲人会の方と手紙のやりとりをし、年に一回部誌を発行、不定期で学外のイベントに参加しています。夏休みには片道交通費のみで静岡合宿に行けます。初心者・兼部・途中入部OK☆ぜひ一度遊びに来てください。

■美術部

①11人②月曜昼休みにミーティング③1,000円④基本的には個人での制作活動が中心ですが、皆で美術館や博物館に出かけたりもします。描くのが好き・作るのが好きという人、また見るのが好きという人も大歓迎です!!お待ちしております。

■文芸部

①20人②月2回集合、毎月の部誌発行③なし④貴女は本が好きですか?読むことや書くことが好きな方、誰でも大歓迎です☆自分の書いた文章を「本」として形に残しましょう!
<http://narajobungeibu.dokkoisho.com/>

■漫画研究会

①66人②火・金曜16:30～③入会金1,000円、前期後期各1,000円④主な活動は年4回の部誌発行、学園祭でのイベント開催です。普段は学館「大和」で日本の誇る様々なサブカルチャーについて皆で楽しく語り合っています。興味のある方は気軽にどうぞ。

第16回外国人留学生による日本語スピーチ大会 及び学長主催留学生懇親会

平成21年11月6日(金)午後4時30分から、大会館2階大集会室にて「外国人留学生による日本語スピーチ大会」が開催され、中国・韓国・マレーシア・フランスの4カ国から10名の留学生が出場しました。一人一人の個性豊かなスピーチは、日頃の日本語学習の成果が見られ、聴衆を感動させていました。今年は、中国からの留学生曲向超さんが優秀賞に選ばれ、11月19日(木)に行われた奈良地域留学生交流推進会議主催のスピーチ大会で、本学代表として好演し、優秀賞とは僅差の準優秀賞を獲得しました。

スピーチ大会終了後、恒例の学長主催留学生懇親会を生協食堂で行い、留学生の他多くの日本人学生や教職員、そして日頃お世話になっている支援団体の関係者の参加により、盛会となりました。



日本語スピーチ大会出場者名と演題

- | | |
|-------------------------------|--|
| 浦 素萍 (中国) 『嫌煙権と喫煙権』 | |
| 李 文釗 (中国) 『私と日本の縁』 | |
| 丑 春莉 (中国) 『地球村になれるか』 | |
| 金 美珍 (韓国) 『私たちはオリンピック選手』 | |
| 白 一然 (中国) 『奈良の鹿』 | |
| 武 瀟瀟 (中国) 『形にこだわる日本人』 | |
| 曲 向超 (中国) 『家族への手紙』 | |
| 金 幽蘭 (中国) 『うんじゃなくて、はい』 | |
| テン ボーリン (マレーシア) 『日本人と英語』 | |
| ヴァンデンドリシュ・ポリヌ (フランス) 『世界の美しさ』 | |



平成21年度佐保会奨学金授与式

去る12月9日(水)、平成21年度佐保会奨学金授与式が佐保会館の2階大ホールに於いて挙行され、今年度は18名に対して奨学金が授与されました。

佐保会奨学金は、本学卒業生で組織された社団法人佐保会が、昭和34年に本学創立50周年記念事業の一環として募金された基金により設けられたもので、学業・人物ともに優秀であり、身体健康・研究意欲旺盛であるとして大学が推薦し、佐保会が採用した者に給付されるものです。

また、本学卒業生 溝口泰子氏のご遺志により「東南アジア留学生の勉学を助成する目的」により佐保会に寄附された奨学金により、今年度は東南アジア留学生奨学生枠として1名が選出・授与されました。

<今回奨学金が授与された18名>

学 部	文学部	理学部	生活環境学部
	芹川 愛可	鈴木 恵子	大西 由美子
	田中 文乃	稲田 亜由佳	西尾 悠子
	奥田 百合江	松下 彩乃	山田 紫野

大学院	博士前期課程	博士後期課程
	山田 沙弥	鷲尾 惟子
	野々下 純子	友枝 恭子
	石川 真帆	
	梅田 奈々	
	本田 純子	
	池野 なつ美	

東南アジア留学生 理学部
マリア・ルディア・シモナベンディ



Jazzy Club

①35人②火・木・土曜日に音楽棟にて練習③入部費1,000円と前後期各2,000円④Jazzスタンダードナンバーから、Jazzyな曲(スカパラ等)、そしてビッグバンドの曲を練習し、本番に向け楽しく演奏しています。初心者も大歓迎!!一緒にJazzを楽しみましょう♪

吹奏楽部

①7人②夏休み中の演奏旅行③月500円④私達吹奏楽部は発足してで、通常の吹奏楽団に比べるとかなり少人数です。その特徴を活かして、毎年夏に大演奏旅行を繰り広げています。音楽が大好きな方、旅行が大好きな方、ぜひ一度吹奏楽部へ遊びに来てください!

箏曲部「飛鳥会」

①21人②ミニコンサート(春)定期演奏会(秋)③月750円④お箏って渋いし難しそう…なんて思いませんか?実はいろんな曲が弾けるんです!ぜひ一度遊びに来てください。部員の大半が大学からお箏を始めたので未経験者大歓迎です。三味線も弾けますよ♪

能楽部 観世会

①4人②毎週火・木③月2,000円④伝統芸能の能楽を楽しく実践するサークルでプロの能楽師のご指導のもと仕舞・謡などの練習をしています。皆仲良く楽しく活動しています。あなたも新しいことを始めてみませんか?途中入部OK!!気軽に遊びに来てね☆

piano-forte

①36人②水16:30~ミーティング・恋都祭でのピアノカフェ・定期演奏会③前後期各3,000円④冷暖房完備の練習室があり、自由にピアノを弾くことが出来ます。和気あいあいと楽しいサークルです♪

http://www.geocities.jp/pianoforte_narajo/

学生表彰

学生表彰制度による表彰式が、2月9日(火)に行われました。



(個人)

岩田 真美 (大学院人間文化研究科(博士前期課程)1回生 合気道部)	第27回合気道大阪武会本部演武大会	大学生女子有段の部	会長奨励賞
藤井 千晴 (大学院人間文化研究科(博士前期課程)1回生 合気道部)	第5回合気道大阪武会本部演武大会	女子段の部	優勝
	第27回合気道大阪武会本部演武大会	大学生女子有段の部	会長奨励賞
	第27回合気道大阪武会本部演武大会	大学生女子級の部	優秀演武賞
今西 千紀路 (文学部4回生 合気道部)	第5回合気道大阪武会本部演武大会	女子段の部	優勝
	第27回合気道大阪武会本部演武大会	大学生女子級の部	最優秀演武賞
井出 法慧 (生活環境学部4回生 合気道部)	第5回合気道大阪武会本部演武大会	女子段の部	3位
	第27回合気道大阪武会本部演武大会	大学生女子有段の部	最優秀演武賞
西 見枝 (理学部4回生 合気道部)	第27回合気道大阪武会本部演武大会	大学生女子新人の部	会長奨励賞
	第27回合気道大阪武会本部演武大会	大学生女子有段の部	最優秀演武賞
世古口 歩華 (生活環境学部3回生 合気道部)	第5回合気道大阪武会本部演武大会	女子段の部	3位
奥井 彩 (文学部2回生 合気道部)	第5回合気道大阪武会本部演武大会	女子級の部	優勝
	第29回関西学生合気道新人競技大会	演武競技 女子対武器の部	3位
國岡 信江 (文学部2回生 合気道部)	第5回合気道大阪武会本部演武大会	女子級の部	優勝
重松 夏菜子 (文学部2回生 合気道部)	第29回関西学生合気道新人競技大会	演武競技 女子対武器の部	3位
清野 朋美 (理学部2回生 合気道部)	第5回合気道大阪武会本部演武大会	女子級の部	3位
	第27回合気道大阪武会本部演武大会	大学生女子級の部	最優秀演武賞
三木 望 (生活環境学部2回生 合気道部)	第5回合気道大阪武会本部演武大会	女子級の部	3位
齋藤 和紀子 (理学部1回生 合気道部)	第27回合気道大阪武会本部演武大会	大学生女子新人の部	最優秀演武賞
東 裕子 (理学部1回生 合気道部)	第27回合気道大阪武会本部演武大会	大学生女子新人の部	最優秀演武賞
上垣 沙苑野 (理学部2回生 合気道部)	第27回合気道大阪武会本部演武大会	大学生女子級の部	優秀演武賞
松尾 玲奈 (理学部1回生 合気道部)	第27回合気道大阪武会本部演武大会	大学生女子新人の部	会長奨励賞
牛見 友衣子 (理学部3回生 なぎなた部)	第23回奈良市なぎなた競技大会	演技 大学・一般有段の部	3位
太田 礼美 (生活環境学部3回生 なぎなた部)	第63回奈良市民体育大会 春季大会	なぎなた演技競技 大学・一般の部	2位
	第63回奈良市民体育大会 春季大会	なぎなた試合競技 団体戦 大学・一般の部	2位

日本学生支援機構奨学金について

日本学生支援機構の奨学金には、無利息の第一種と利息付の第二種があります。

4月に新年度の奨学生(定期採用)募集を行っています。また、家計急変による緊急及び応急採用の制度もあります。

これらの奨学生募集や奨学生として在学中に必要な手続については、掲示(図書館東側掲示板)によりお知らせします。自分にとって不利益にならないよう、募集期間や提出期限等を見逃さないよう、十分注意してください。

廣岡奨学金について

廣岡奨学金は、本学卒業生 故 廣岡タマエ様(奈良女子高等師範学校理科を昭和4年卒業)のご遺志による寄付金を基金とし、学業・人物ともに優秀な学部学生で、両親のいない又は母子家庭・父子家庭など、学費負担者に特別の事情があり経済的に修学が困難な者に奨学金を給付し、将来有望な人材を育成することを目的として設けられたもので、現在9名の学生が受給しています。

この奨学金の募集は、学部2回生以上を対象として、4月に行います。具体的な申し込み手続は掲示によりお知らせします。

学生相談室から

●学生相談室を、一度訪ねてみませんか。

学業や進路の不安、日常生活で困ったこと、対人関係など、さまざまな心配事について一緒に考えましょう。

話を聞いてもらうだけでも、落ち着くこともあります。

相談室はあなたの話にじっくり耳を傾けます。そのことで解決の糸口が見つかるかもしれません。

内容に応じて適切な人や機関を紹介することもできます。

●開室日及び開室時間

月曜日～金曜日 午前10時～午後5時

夏季休業期間中は月曜と木曜のみ開室

8月第3週と第4週、12月27日～1月5日、入学試験日(前期・後期)は閉室します。

上記以外で閉室する場合は、構内掲示板や相談室前にその旨を掲示することにより、お知らせします。

学生相談室の場所は学生会館3階です。

TEL.0742-20-3925 Eメール soudan@cc.nara-wu.ac.jp

●スタッフ(2009年度)

■相談受付

金 文子 (月曜日・水曜日・金曜日)

岩井 涼子 (火曜日・木曜日)

■相談員

吉田 容子 (教員)

吉岡 英生 (教員)

原田 雅史 (教員)

■カウンセラー

皆藤 靖子 (臨床心理士)

竹村 百代 (臨床心理士)

長田 真弓（文学部3回生 なぎなた部）	
第23回奈良市なぎなた競技大会 試合 団体 大学・一般の部	2 位
第23回奈良市なぎなた競技大会 演技 大学・一般有段の部	3 位
第28回関西学生なぎなた選手権大会 有段演技の部	3 位
第60回県民体育大会 なぎなた演技競技 成年有段の部	2 位
米津 詔子（文学部2回生 なぎなた部）	
第23回奈良市なぎなた競技大会 演技 大学・一般段外の部	優勝
第28回関西学生なぎなた選手権大会 段外演技の部	2 位
第25回関西学生なぎなた新人戦大会 演技競技 段外の部	2 位
第25回関西学生なぎなた新人戦大会 試合競技 段外の部	3 位
天野 沙紀（理学部2回生 なぎなた部）	
第23回奈良市なぎなた競技大会 演技 大学・一般段外の部	優勝
第63回奈良市民体育大会 春季大会 なぎなた試合競技 団体戦 大学・一般の部	2 位
第28回関西学生なぎなた選手権大会 段外演技の部	優勝
第28回関西学生なぎなた選手権大会 段外個人の部	優勝
第60回県民体育大会 なぎなた演技競技 成年段外の部	3 位
第25回関西学生なぎなた新人戦大会 演技競技 段外の部	優勝
第25回関西学生なぎなた新人戦大会 試合競技 段外の部	優勝
打田 優里（生活環境学部2回生 なぎなた部）	
第23回奈良市なぎなた競技大会 演技 大学・一般段外の部	2 位
第28回関西学生なぎなた選手権大会 段外演技の部	優勝
第60回県民体育大会 なぎなた演技競技 成年段外の部	2 位
第25回関西学生なぎなた新人戦大会 演技競技 段外の部	2 位
笹本 佳奈子（生活環境学部2回生 なぎなた部）	
第23回奈良市なぎなた競技大会 演技 大学・一般段外の部	2 位
第28回関西学生なぎなた選手権大会 段外演技の部	2 位
第28回関西学生なぎなた選手権大会 段外個人の部	3 位
第25回関西学生なぎなた新人戦大会 演技競技 段外の部	優勝
第25回関西学生なぎなた新人戦大会 試合競技 段外の部	2 位
高田 浩子（文学部1回生 なぎなた部）	
第63回奈良市民体育大会 春季大会 なぎなた演技競技 大学・一般の部	3 位
第28回関西学生なぎなた選手権大会 有段演技の部	3 位
第60回県民体育大会 なぎなた演技競技 成年有段の部	2 位
第25回関西学生なぎなた新人戦大会 演技競技 有段の部	3 位
大沼 愛奈（文学部1回生 なぎなた部）	
第63回奈良市民体育大会 春季大会 なぎなた試合競技 団体戦 大学・一般の部	1 位
第63回奈良市民体育大会 春季大会 なぎなた演技競技 大学・一般の部	1 位
第60回県民体育大会 なぎなた試合競技 大学・一般の部(40歳未満)の部	3 位
第25回関西学生なぎなた新人戦大会 演技競技 有段の部	3 位
上田 香奈（文学部1回生 なぎなた部）	
第60回県民体育大会 なぎなた演技競技 成年段外の部	3 位
下名 志津香（生活環境学部3回生 陸上部）	
第29回奈良春日・大仏マラソン全国大会 第22部	4 位
山田 幸（文学部2回生 陸上部）	
第47回近畿地区国立大学体育大会 陸上競技 女子800m	優勝
内藤 瞳（生活環境学部2回生 陸上部）	
第28回奈良春日・大仏マラソン全国大会 第11部	6 位
鶴久森 知里（生活環境学部1回生 陸上部）	
第47回近畿地区国立大学体育大会 陸上競技 女子400m	2 位
第46回大阪スポーツ祭典秋季陸上競技大会 女子400m	優勝
宮嶋 ゆうな（生活環境学部1回生 陸上部）	
第29回奈良春日・大仏マラソン全国大会 第11部	5 位
柴田 絵梨（理学部3回生 音楽部）	
第64回関西合唱コンクール（第62回全日本合唱コンクール関西支部大会）	
大学部門Aグループ 学生指揮者賞	
田中 まや（生活環境学部3回生 アイススケート部）	
第29回国公立大学フリースケーティング競技会 Aクラス女子	4 位
石井 瞳（文学部3回生 弓道部）	
第63回奈良市民体育大会 春季大会 弓道一般女子個人	1 位

竹山 さとこ（文学部3回生 弓道部）	
第63回奈良市民体育大会 春季大会 弓道一般女子個人	2 位
坪井 仁美（文学部3回生 弓道部）	
第63回奈良市民体育大会 春季大会 弓道一般女子個人	3 位
早川 千亜希（文学部3回生 硬式テニス部）	
第33回奈良学生テニス選手権大会 女子ダブルスの部	3 位
甲斐 萌梨（生活環境学部1回生 硬式テニス部）	
第33回奈良学生テニス選手権大会 女子ダブルスの部	3 位
武元 祥代（理学部3回生 硬式テニス部）	
第33回奈良学生テニス選手権大会 女子シングルの部	優勝
青木 真衣（理学部3回生 水泳部）	
第47回近畿地区国立大学体育大会 水泳女子200m個人メドレー	2 位
第47回近畿地区国立大学体育大会 水泳女子400mリレー	2 位
浅田 理恵（理学部3回生 水泳部）	
第47回近畿地区国立大学体育大会 水泳女子200mリレー	3 位
第47回近畿地区国立大学体育大会 水泳女子400mリレー	2 位
第47回近畿地区国立大学体育大会 水泳女子400mメドレーリレー	3 位
清水 美樹（文学部3回生 水泳部）	
第47回近畿地区国立大学体育大会 水泳女子200mリレー	3 位
第47回近畿地区国立大学体育大会 水泳女子400mリレー	2 位
角鹿 由佳（文学部2回生 水泳部）	
第47回近畿地区国立大学体育大会 水泳女子100m背泳	3 位
第47回近畿地区国立大学体育大会 水泳女子200m背泳	3 位
第47回近畿地区国立大学体育大会 水泳女子400mメドレーリレー	3 位
坂本 美由紀（理学部2回生 水泳部）	
第47回近畿地区国立大学体育大会 水泳女子100m平泳	3 位
第47回近畿地区国立大学体育大会 水泳女子400mリレー	2 位
第47回近畿地区国立大学体育大会 水泳女子400mメドレーリレー	3 位
浦原 友香（理学部2回生 水泳部）	
第47回近畿地区国立大学体育大会 水泳女子200mリレー	3 位
駄田井 智永子（生活環境学部2回生 水泳部）	
第47回近畿地区国立大学体育大会 水泳女子200mリレー	3 位
加藤 杏菜（理学部1回生 水泳部）	
第47回近畿地区国立大学体育大会 水泳女子200m個人メドレー	3 位
第47回近畿地区国立大学体育大会 水泳女子400mメドレーリレー	3 位
延 奈留美（理学部1回生 水泳部）	
第60回関西国公立大学選手権水泳競技大会、 第46回関西女子国公立大学選手権水泳競技大会 兼第56回全国国公立大学選手権水泳競技大会関西支部予選会 女子200m自由形	1 位
第60回関西国公立大学選手権水泳競技大会、 第46回関西女子国公立大学選手権水泳競技大会 兼第56回全国国公立大学選手権水泳競技大会関西支部予選会 女子200m個人メドレー	2 位
山本 遥香（大学院人間文化研究科(博士前期課程)2回生)	
第5回世界テアリーディング選手権大会	優勝
(団 体)	
剣道部 第25回関西女子大学定期戦	3 位
弓道部 第47回近畿地区国立大学体育大会 弓道競技の部女子	優勝
第63回奈良市民体育大会 春季大会 弓道一般女子団体	1 位
平成21年度奈良県大学選手権大会 女子団体戦	準優勝
水泳部 第47回近畿地区国立大学体育大会 水泳女子	3 位
ハンドボール部 第47回近畿地区国立大学体育大会 ハンドボール女子	3 位
音楽部 第64回関西合唱コンクール（第62回全日本合唱コンクール関西支部大会） 大学部門Aグループ	金賞



奈良女子大学
〒630-8506 奈良市北魚屋西町
TEL0742-20-3235

発行日:2010年3月15日
発行:学学生生活支援室
印刷所:共同精版印刷株式会社